

平成30年度 第7回臨床腫瘍セミナー

がん免疫療法によるがん治療のコペルニクスの転回

がん：死に至る病から慢性疾患へ

がんを根治するには早期発見、早期治療しかないのが現状であった。
最近、免疫チェックポイント阻害剤などがん免疫療法により、
たとえ進行がんでも3年生存すれば5年、10年生存する
完治と言って過言ではない長期生存がん患者が出てきている。
本講演では、がん免疫療法でがんはもはや死に至る病ではなく、
慢性疾患になりつつある現状を解説し、将来展望について述べる。

昭和大学 腫瘍内科学講座 教授

講師 **角田 卓也 先生**
(つのだ たくや)

プロフィール

略歴 1987年 和歌山県立医科大学卒
1993年 和歌山県立医科大学大学院（外科学）卒
1995年 和歌山県立医科大学第二外科助教
2000年 東京大学医科学研究所外科講師
2005年 同准教授
2010年 創薬ベンチャー社長
2016年 昭和大学臨床免疫腫瘍学講座教授
2018年 昭和大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門教授

著書 2017年 進行がんは免疫で治す（幻冬舎）
2018年 希望のがん免疫療法（幻冬舎）

専門分野や研究テーマ：がん免疫療法、新規がん治療法の開発

医療に対する信念：患者さんへ納得を、全ては患者さんの笑顔のために

モットー：すべての成果の基には人間関係がある。



日時：平成30年11月20日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：鈴木弘行 先生（呼吸器外科学講座）

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 平成30年12月18日(火)18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室